

## 1 期 日

- (1) 開会式 令和2年12月22日(火) 10時～  
(2) 競 技 令和2年12月22日(火)～24日(木)  
(3) 閉会式 令和2年12月24日(木) 競技終了後

## 2 会 場

島津アリーナ京都 〒603-8334 京都市北区大將軍西鷹司町 TEL075-462-9191

## 3 競 技 種 目

- (1) 男子学校対抗(団体戦) (2) 男子シングルス  
(3) 女子学校対抗(団体戦) (4) 女子シングルス

## 4 競 技 日 程

12月22日(火)	10時～18時	開会式 男女学校対抗	ベスト8決定まで
12月23日(水)	10時～18時	男女シングルス 男女学校対抗	ベスト32まで 決勝まで 順位決定戦
12月24日(木)	10時～15時	男女シングルス 閉会式	決勝まで

## 5 競 技 規 定

- (1) 現行の日本卓球ルールと以下の規定を適用する  
(2) 競技用ユニフォームは以下のとおりとする。  
・(公財)日本卓球協会公認マークのついたものとし、(公財)日本卓球協会制定のゼッケンを背中に付けること。(2015年9月一部改訂の白地ユニフォーム禁止規定採用)  
・団体戦はチームで同じユニフォームを着用すること。また、明らかに異なった色のものを2着以上持参し、準々決勝以降は対戦相手校・選手と同色のユニフォームを避けること。  
(同色であった場合トスにより一方のチーム・選手がユニフォームを変更する。)
- (3) 監督は学校長が認める指導者とし、当該年度に(公財)日本卓球協会に役職者登録された者であること。また、それが外部指導者の場合は、損害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入し、その証明書を添付した「外部指導者申請書」を大会参加申込時に提出することを条件とする。なお、監督は役職者章((公財)日本卓球協会発行の2020年度役職者章)をつけること。
- (4) 個人戦のアドバイザーは次の条件で認める。  
(ア) アドバイザーは一つの試合について1名を認める。  
(イ) アドバイザーの資格は、大会申込時にエントリーされた当該校の監督・選手に限る。  
(ウ) アドバイザーは試合開始時に選手とともに入場する。試合途中でコートを離れてもよいが、以後そのコートに復帰できない。ただし、当該校で複数の選手が試合をしている場合、遅れて入ることができる。
- (5) ゲーム間のアドバイスやタイムアウトの時間は1分以内であること。タイムアウト制は全種目準々決勝より適用する。(順位決定戦含む)
- (6) 接着剤の使用は指定された場所でのみ認める。
- (7) 使用球は(公財)日本卓球協会公認球(40mmプラスチックホワイト)とする。  
今大会はVictas・ニッタク・タマス(R球)の3社とする。
- (8) 使用台は(公財)日本卓球協会公認のブルー台とする。

## 6 競技方法

- (1) 全種目11本5ゲームスマッチのトーナメント方式とする。
- (2) 学校対抗の試合方法は次の通りとする。
  - (ア) 選手登録人数は4名以上8名以内とし、補欠は認めない。
  - (イ) 勝敗は4～5名による5シングルの5試合3点先取で決定する。
  - (ウ) 試合順序は次の通りとする

順 序	1	2	3	4	5
種 目	S	S	S	S	S

S：シングルス

ただし、5番の選手は、1番～4番までに出場した選手が、重複して出場できる。すべて異なる選手とする事も可能。

- (エ) 外国籍選手は2名まで登録することができる。オーダー編成には2名のうち1名のみ起用することができるが、出場は1回のみとする。ただし、試合の都度他の1名と交替して、オーダー編成することができる。
- (オ) 試合は、2コートを同時使用する場合もある。
- (3) 本大会は第48回全国高等学校選抜卓球大会の近畿ブロック予選を兼ねているため、学校対抗の3・4位決定戦および5～8位決定戦も行う。(女子は9位決定戦まで行う)5～9位決定戦は本戦のトーナメントにしたがって試合を行う。
- (4) 審判について
  - (ア) 学校対抗は相互審判とする。ただし、準々決勝以降は公認審判員で行う。  
(注) 3位以下の順位決定戦については相互審判とする場合もある。
  - (イ) 個人戦については敗者審判とする。ただし、準々決勝以降は公認審判員で行う。  
(2日目、3日目の第1試合については、地元の高校生審判員が行う。)

## 7 参加資格

- (1) 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
- (2) 選手は各府県高等学校体育連盟に加盟している高等学校の生徒で、当該競技要項により大会参加資格を得た者に限る。
- (3) 選手は当該年度に(財)日本卓球協会に登録されたものであること。
- (4) 学校対抗は、最高学年を除いてチーム編成をしなければならない。すなわち平成14年4月2日以降に生まれた2年生以下の者とする。ただし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (5) チームを編成する場合、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (6) 統廃合の対象になる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (7) 転校後6ヶ月未満の者の参加は認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)ただし、学校再配置による転入学生徒及び一家転住などのやむを得ない場合は、各府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- (8) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。
- (9) 参加資格の特例
  - (ア) 上記の(1)、(2)に定める生徒以外で、当該競技要項による大会参加資格を満たすと判断され、各府県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
  - (イ) 上記(4)のただし書きについて、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は同一競技2回限りとする。

### 【大会参加資格の別途に定める規定】

- (1) 学校教育法第72条、第115条、第124条および第134条の学校に在籍し、府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- (2) 以下の条件を具備すること。
  - ① 大会参加資格を認める条件
    - (ア) 近畿高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
    - (イ) 参加を希望する専修学校及び各種学校にあつては、学齢・修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
    - (ウ) 各学校にあつては、府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、本大会へ出場条件が満たされていること。
    - (エ) 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っておらず、運営が適切であること。
  - ② 大会参加に際して守るべき条件
    - (ア) 近畿高等学校体育連盟種目別大会要項を遵守し、本大会申し合わせ事項等に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。
    - (イ) 大会参加に際しては、責任ある教職員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
    - (ウ) 大会参加に要する経費については、応分の負担をすること。

## 8 参加制限

- (1) 各種目の参加数は、各府県男女とも下記の通りとする。

学校対抗（団体戦） 8校	シングルス 16名
--------------	-----------

\* ただし、同一校より個人種目への出場数は、シングルス8名以内とし、学校対抗の前年度優勝校は無条件に出場できる。また、シングルスの前年度同大会のランキング保持者は無条件に出場できる。学校対抗においては各府県の予選会の出場校数が8校以下の場合には出場校数に1を減じた出場数とする。

（さらに、開催地は別に学校対抗1校、シングルス4名の出場を認める）

- (2) 外国籍留学生の参加については、(公財) 全国高等学校体育連盟卓球専門部規定第1条2[5]外国籍選手出場制限による。

## 9 参加申込

- (1) 申込方法

(ア) 参加校の顧問は、

- 1) 京都府高体連卓球専門部ホームページより、R2年度近畿新人卓球大会大会参加申し込みファイルをダウンロードし、必要事項を挿入し、各府県高等学校体育連盟卓球専門部責任者に各府県で指定された期日までにデータを送付する事。
- 2) 別紙参加申込用紙に記入の上、各府県高等学校体育連盟卓球専門部責任者に各府県で指定された期日までに参加料を添えて申し込むこと。

(イ) 各府県高体連卓球専門部委員長は、「京都府高等学校体育連盟卓球専門部」のホームページから、出場校・選手一覧表の書式をダウンロードし、必要事項を入力したうえ、下記申込先のメール

アドレスに電子メールで送信すること。  
それとともに参加申込用紙と一覧表を印刷し下記申込先に送付すること。

- (2) 申込先・・申込用紙と印刷物（一覧表）  
〒606-8445 京都市左京区永観堂町51  
東山高等学校 京都府高体連卓球専門部 委員長 宮木 操 宛  
TEL 075-771-9121  
申込先・・電子データ  
e-mail nakatani44@kyoto-tt.net 京都府高体連卓球専門部 中谷 勝彦 宛
- (3) 申込期日  
令和2年11月17日（火） 必着

## 10 参 加 料

- (1) 学校対抗（団体戦） 1チーム 20,000円  
(2) シングルス 1名 1,000円

\* 参加料は、参加申し込みと同時に各府県責任者に納入し、各府県委員長が一括して、下記に振り込んで下さい。

振込先 京都銀行 銀閣寺支店（キョウトギンコウ ギンカクジシテン）  
普通 3361354 京都府高体連卓球専門部 委員長 宮木 操  
（キョウトフコウタイインテックョウセンゴウ インチョウ ミヤキ ミサオ）  
尚、振り込み人名義は ○○県 卓球専門部委員長 東山 太郎（仮称）  
で、お願いします。

## 11 表 彰

- (1) 学校対抗（団体戦） 第1位から第5位（ベスト8）まで表彰する。  
(2) 個人戦（シングルス） 第1位から第5位（ベスト8）まで表彰する。  
第1位から第8位までランキング証を授与する。

## 12 宿 泊・弁 当

- (1) 申込方法については、別紙申込用紙に必要事項を記入の上、直接指定業者に申し込むこと。  
(2) 選手・監督の弁当については指定業者が会場に届ける。

## 13 連 絡 事 項

- (1) 競技中の疾病・障害などの応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。  
(2) 参加選手・監督・役員は必ず健康保険証を持参すること。  
(3) 出場校の選手は必ず引率責任者（当該校の専任教職員または部活動指導員）が引率し、引率責任者は選手の行動に対し、全ての責任を負うものとする。  
(4) **新型コロナウイルス対策の観点から、チェックリストに異常が有る場合、また、チェックリストを提出しない場合は、大会出場を認めない事がある。**  
(5) **全日とも、コロナウイルス対策のため、会場にての朝の練習は行えません。**

## 14 新型コロナウイルス対策としての注意事項

\*プレーの時以外は、どなた様に関わらずマスク着用のこと。(されない方の入場はお断りします。)

- (1) 検温チェックリスト (以下、チェックリスト) の提出について
  - ・各学校 (監督・選手) は、事前に京都府高体連卓球専門部のホームページより、監督・選手用と記されたチェックリストの欄からダウンロードし、必要事項を記入の上、試合当日提出すること。
  - ・監督の先生は、自チーム分をすべて回収し、大会本部まで毎回 (毎日) 提出のこと。
  - ・大会関係者・応援生徒・保護者など、今回の試合申し込み用紙に記入されていない者は、京都府高体連卓球専門部ホームページの監督・選手以外の方という欄よりチェックリストをダウンロードし、必要事項を記入の上、チェックリストを提出する事。
  - ・当日チェックリストを提出願えない方の体育館への入場は、固くお断りさせていただきます。尚、受付等には、チェックリストの予備は備え付けませんので、ご了承下さい。
- (2) 体育館使用に関して
  - ・体育館への入退場は、1階自動ドア横からの1箇所となります。  
ここの入り口を先頭に一定間隔を保ちながら、横2人の2列縦隊で並んで下さい。その際パイロンによる導線がありますので、それに従って下さい。  
尚、「密」を避けるため、

全日	8時45分	役員・補助員・関係生徒
	9時15分	監督・選手
	10時	その他

とさせていただきますので、ご注意下さい。(事情により若干の時差や変更があります。)
  - ・入り口でサーモグラフィセンサーによる検温を行います。そこで37度を超える場合は、別途検温を行います。
  - ・入場された方々は、導線に従い2階観覧席の方へお上がり下さい。
  - ・2階観覧席では、前後左右1席分の間隔を空けて着席してください。  
チームの監督さんは、監督・選手のチェックリストを回収し、異常がないか、確認の上2階北側廊下にある、プログラム交換所に提出し、プログラムを受け取って下さい。その際、異常にチェックのある選手がある場合、係の先生の指示に従って行動して下さい。(2日目以降もここへ提出して下さい。)  
初日は、開会式までに、その他の日は、競技開始までに願います。  
チェックリストに異常がある場合は、選手・監督・競技責任者と協議の上、参加の可否を決定します。
  - ・喫煙者は、1階出入口より出て、西側喫煙所に行ってください。尚、再入場の際は、入り口にて検温をお願いします。(選手等も一度退館した場合は、之に準じます。)
  - ・観覧席からの大声による応援は「無し」とします。
  - ・更衣室を使用する場合は使用前後の手指消毒を徹底するとともに、最低限度の時間で使用して下さい。
- (3) 競技運営について
  - ・開会式は、フロアーでは行いません。(優勝旗返還などの関係者のみフロアー)
  - ・第一アリーナへの出入口は、東西の4箇所のみです。ここは、通常基本的には開放しておきます。(換気のため) 第二アリーナは1箇所のみ。  
ここに、手洗いの消毒用ジェルを設置するので、必ず入退場の際には手を消毒して下さい。
  - ・ベンチの椅子に座る場合は、直接座らないで下さい。必ず使用していないタオル、座布団など敷物を使用して下さい。選手等がフロアーに直接座る場合も同じです。
  - ・試合毎のボール・卓球台・カウンターの消毒は、行いません。(その為にも、消毒の励行を遵守して下さい。)

- ・ゲームに於いては、ベンチでの試合前後の握手、相手選手への握手は禁止です。(ハイタッチ等を含む)
- ・ベンチでも、監督・選手はマスクを着用して下さい。
- ・タオルは、備え付けの「カゴ」に入れて下さい。その際にコートにある使い捨てペーパーをカゴに敷き、その上にタオルを置いて下さい。カゴに直接タオルを置かないで下さい。チェンジエンドの際には、そのカゴを持って移動して下さい。自分の試合が終了したら、そのペーパータオルは、フェンスにあるゴミ袋に自分で捨てて下さい。
- ・コートや床に落ちた汗は、ペーパータオルで拭き取り、ゴミ袋に捨てて下さい。
- ・コートは、メインアリーナ4列6台、サブアリーナ6台を使用し、コート間の間隔は、4Mを保ちます。